

# 西武新宿線連続立体交差化実現による 踏切渋滞解消について

開かずの踏切が多く含まれる中野区内の西武新宿線においては、踏切における慢性的な交通渋滞が深刻な問題となり、平成16年1月に中野区民、中野区議会および中野区の三者による西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟（以下「期成同盟」といいます。）を結成し、踏切の渋滞解消に向けて活動を行っています。

中野区内の西武新宿線では、既に事業化している中井駅～野方駅間の工事が日ごとに進捗しています。今後とも、早期事業完了に向けて、工事を進めていくことが重要となります。また、地下化により新たな土地利用が可能となる鉄道上部空間については、駅周辺や沿線まちづくりとの整合を図りながら、地域の意見等を踏まえて検討していくことが重要となります。

野方駅～井荻駅付近の連続立体交差化計画について、東京都は国から着工準備採択を受け、事業化に向けた検討が進められています。区では、各駅周辺地区の「まちづくり整備方針」を策定しており、地域ではまちづくりの検討も進んでいることから、計画の早期事業化への期待がより一層高まっています。

期成同盟では、中井駅～野方駅間の連続立体交差事業の着実な推進を図ること、着工準備採択を受けている野方駅～井荻駅付近の連続立体交差化計画の早期事業化を図ることを望んでおり、令和4年8月23日に期成同盟決起大会を開催し、別添のとおり決議しました。

財務省におかれましては、下記の事項について特段のご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

## 記

- 1 連続立体交差事業及び沿線まちづくり事業に関し、将来に亘り、安定した財源を確保し、事業に必要な予算を確保すること。

以上